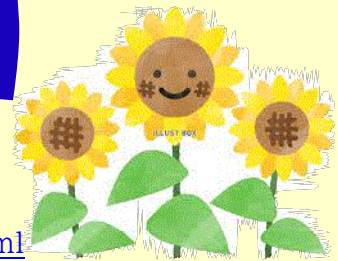


教育目標

夢を一緒にかなえよう

～気付き・考え・高め合う～

ひまわり



住所：〒893-0057 鹿児島県鹿屋市今坂町12560-2

電話：0994-44-8725 FAX:0994-40-1220

HP：[//www.edu-kanoya.net/edu/nishiharadai/es/index.html](http://www.edu-kanoya.net/edu/nishiharadai/es/index.html)

行動や言葉が心を育てる

校長 田中 雄志

ある人の行動を見て、「あの人の性格がよく表れている」と言うことがあります。

しかし、大学の心理学教授によると、「性格が行動に出る」のではなく、実は逆に「行動が性格を形成していく」のだそうです。例えば、「落ち着きがないなどだらしない性格（意識）だから、だらしない生活になる」のではなく、「だらしない生活を送っているから、だらしない性格（意識）になる」のだそうです。

西原台小の6年生は、伝統的に朝のボランティアに取り組んでいます。始業前に玄関や廊下の掃除をするのです。もしかしたら、最初は「嫌だな」「朝から面倒だな」と思って始めた子どももいるかもしれませんが、しかし、やり続けることで、自然と確実にボランティア精神が身に付いているように感じます。

子どもたちの中には、授業中に落ち着きがなかったり忘れ物が多かったりする子どもがいます。これも、周りの大人が日頃の生活習慣を整えてあげて、適切な行動をとるよう丁寧に粘り強く指導し、落ち着いた生活を送らせることで、日頃から落ち着いた行動をしようとする意識へと、改善されることになります。

また、周りに迷惑をかけるような問題行動をしたり、乱暴な言葉遣いをしたりする子どもがいますが、これも元々心が荒れていたからではなく、粗雑な言動を繰り返したことによって、徐々に心も荒れていったと考えられます。

したがって、子どもの心を豊かにするには、子どもに優しく思いやりのある言動をさせることが大事になってきます。では、子どもたちに優しく思いやりのある言動をさせるにはどうすればよいのでしょうか。

それは、周りの大人が子どもに対して心のこもった言葉遣いや態度で接することだと思います。英文学者で言語学者の外山滋比古先生（お茶の水大学名誉教授）は、「心は言葉によって生まれる」と述べています。「子どもの心が荒れているのは、子どもを取りまく環境に、血の通った言葉が欠けている結果ではないか」というのです。つまり、子どもの心を豊かにするには、周りで豊かな気持ちのこもった言葉を話しかけてやるほかにないというのです。

『行動や言葉が心を育てる』私自身の自戒も込めて、まずは私たち大人が、子どもたちの手本となるような心のこもった言葉遣いや優しく思いやりのある行動をしていきたいものです。

5月に予定していた運動会を新型コロナの感染拡大の状況を受けて秋以降に見送っていましたが、9月26日（日）に開催することにいたしました。予定が変更となり、御迷惑をおかけしますが、御理解と御協力をお願いいたします。